



Learning View

ラーニング ビュー

確かな学力の育成に向けて ～資質・能力を子どもの姿で捉える～

令和8年度の学校教育の重点では、「児童生徒が主役の授業をととした確かな学力の育成」の推進について各学校にお願いしています。本号では、管内の小学校で実践された外国語を例に、確かな学力をどのように捉えるかについて取り上げます。その上で、児童生徒の実態と照らし合わせながら、具体的な手立てを考え、単元や授業を構想するポイントについて紹介します。

単元名：Unit8 Who is Your Hero? (5年生)
あこがれの人について友達に紹介しよう



この単元は、話すこと[発表]の領域を中心に指導しよう。
[発表]について学習指導要領の目標を確認し、確かな学力を捉えよう！



① 確かな学力(身に付けさせたい資質・能力)を単元の内容や分野、テーマに応じて、学習指導要領(解説)で確認する。(第2章 2節で確認する)

【知識及び技能】の内容(大項目)

- ア 音声
- イ 文字及び符号
- ウ 語、連語及び慣用表現
- エ 文及び文構造

知識・技能は、この4つの項目を意識する必要があるんだな。

この単元に関わる連語は、be good at～(～が得意)もその1つだな。

文構造は、主語+be 動詞+名詞/形容詞をしっかりと身に付けさせよう。



【思考力、判断力、表現力等】の内容

ア 身近で簡単な事柄について、伝えようとする内容を整理した上で、簡単な語句や基本的な表現を用いて、自分の考えや気持ちなどを伝え合うこと。

イ 身近で簡単な事柄について、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を推測しながら読んだり、語順を意識しながら書いたりすること。

思考・判断・表現については、アが「話すこと」に関する内容だな。

伝えたいことを整理することが大切なんだな。



※太字と_____は上越教育事務所によるもの

教科によって書かれ方は違いますが、まずは第2章を参照してみましょう。

- ① 学年/分野/領域の目標を確認(本号の例：話すこと[発表]から確認)
- ② 単元に係る資質・能力の内容を確認
- ③ 単元や児童生徒の実態に応じて、内容のどこに重きを置くか決定

重要





② 目標や内容と児童の実態と照らし合わせ、身に付けさせたい資質・能力を考える。

- ◎簡単な語句や基本的な表現はおおむね用いることができる。
- △主語を用いて表現することに課題が見られる。
- △殆どの児童が同じフォーマットで表現してしまい、相手意識をもって、伝えたい内容から、どの情報をどの順番で伝えるのか決定（選択）することに課題がある。



This is Ohtani.
He baseball player.
I like Ohtani.



He isは正確に使わせたいな。I likeは言えるけど全員がこの表現だな

【単元の目標】 ALTに自分のことをもっとよく知ってもらうために、憧れの人とその理由を紹介しよう。

〈知識及び技能〉 尊敬する人物について、その人物の職業や得意なことなどを、

He/She is… や He/She can… 等を用いて紹介することができる。

〈思考力、判断力、表現力等〉 その人物を尊敬する理由を整理し、自分に関連する情報や、その人物に関連する情報などを用いて話すことができる。



③ 資質・能力の育成に向け、指導内容と支援（手立て）を考える。（単元や授業の構想）

時	主な学習活動	単元の導入で身に付ける資質・能力のイメージ（知・技や思・判・表など）を子どもが捉える
1	ALTのHero紹介を聞き、目的や基本的な情報、表現等を聞き取る。単元の目標を決める。	知・技 思・判・表 ↓ 主語とbe動詞 is、助動詞 can は確実に身に付けさせたいから、ピックチャードで提示しよう。 （知・技の支援） ALT の紹介例は児童と何度も確認して、尊敬する理由などを児童が考えられるようにしよう。そして、伝えたいことを整理できるように、思考ツールも利用できるようにしよう。 （思・判・表の支援）
2	友達にHeroを紹介する（できる範囲で）。	
3	Heroの基本的情報を紹介し合う。	
4	Heroの得意なことや他の情報を紹介し合う。ALTのHero紹介例を再確認する。	
5	Heroを尊敬する理由も含め、Heroを紹介し合う。評価基準を確認する。	
6	Heroに関連し、聞き手に質問を考える。	
7	My Hero 発表練習（小グループで発表）	
8	My Hero 発表会（パフォーマンステスト）	



④ 日々の授業で変容（資質・能力）を見取る。

My hero is Shohei Ohtani.
He is a great MLB player.
He is a pitcher. I am a pitcher too.
I like Ohtani very much.

例：言語活動の中で見取る

can も使うと良いよ



大谷が好きな理由として、自分もピッチャーをやっていることが言えた。次は、can を使って得意なことを表現したいな。

振り返りで見取る



He is が正確に使えているな。自分との関連を話し、尊敬している理由を話しているな。can の使用も含め、表現の幅を広げてよさそうだな。



本号では、授業を構想する際に「確かな学力」を捉えることから、日々の授業における見取りまでをポイントに沿ってお伝えしました。本事例は外国語ですが、各教科においても、単元に関連する学習指導要領（解説）の内容を確認し、児童生徒の実態と照らし合わせ、「確かな学力」の育成をお願いいたします。